

年度評価シート

施設の名 称	静岡市救護所	施設所管課名	福祉総務課
1 履行状況			
業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。			
(1)施設入退所の状況			
月平均入所者数 50.1人(前年度51.0人)			
平成21年度通算入所者数 7人(前年度5人)			
平成21年度通算退所者数 10人(前年度5人)			
(2)事業実施状況			
ア 利用者支援の状況			
施設の性質上、どうしても室内に閉じこもりがちになる入所者に対し、専門講師によるクラブ活動の実施(生け花・手芸・舞踊)や誕生日外出等、利用者の要望に応じた余暇活動を充実させることで、施設内での生活の満足度向上に努めている。また、「買い物市」の実施や、フィットネス・インストラクターによる機能回復訓練の実施など、あまり同様の施設に見られない特徴ある生活支援も実施されており、良好な実施状況であるといえる。			
イ 地域交流の状況			
「ふれあい盆踊り大会」や「ふれあい運動会」を通じて、地域住民との交流を盛んに行っており、良好な実施状況である。			
(3)その他			
平成21年12月に施設内でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生があったが、保健所への連絡や施設内の消毒の実施など、迅速な対応がとられたため、大事には至らなかった。			
2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応 等)			
利用者からの意見に対しては概ね適切な対応が取られている。			
[具体的な意見・要望と対応状況]			
〈施設内の書架の位置について〉			
内容:職員が利用者の気分転換を図るために書架の場所を移したところ、利用者から施設内の移動に支障があると苦情が寄せられたもの。			
対応:職員全員で現場を検証し、確かに施設内の移動に支障があることが判明したため、書架の位置を戻した。また、今後備品の配置を変更する際は、利用者の利便性を考慮して行うこととした。			
3 市民(利用者)へのアンケートや満足度調査の状況評価			
(1)市民アンケート			
本施設は、精神等に著しい障害があり、日常生活を営むことが困難な方のための入所施設であり、利用者が限定されているため、広く市民一般を対象としたアンケートは実施していない。			
(2)利用者満足度調査			
本施設は、入所者の多くに精神的・知的な障害があり、満足度調査という形式での調査が困難であるため、利用者満足度調査は実施していない。			

(3)その他の調査

市民アンケート、利用者満足度調査を実施していないため、利用者集会において、利用者の意見・要望・苦情を把握することとしている。

また、苦情への対応については、苦情を申し出やすい環境を整えるため、苦情受付責任者を置くほか、苦情相談に社会性や客観性を確保するため、苦情第三者委員を設置している。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務に関する収支状況については、概ね予算のとおり執行されている。

施設事務費支弁基準額の引き下げに伴い減収となったが、その分、光熱水費の節約等により支出抑制の努力がみられ、良好な状況である。

5 総合的な評価(課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など)

施設の管理運営全般に関しては、事業計画に従い良好に実施されている。

なお、居宅生活の継続が困難になり、他に入所できる施設のないような方について、福祉事務所と連携の上、できる限り柔軟に受入を行うことができるような体制の整備が今後の課題である。